

2014年3月26日

羊膜移植の術者認定を希望する先生方へ

日本眼科学会理事長 石橋達朗
日本角膜学会理事長 西田幸二
日本角膜移植学会理事長 天野史郎

2014年4月より羊膜移植が保険収載されます。羊膜移植の安全な実施に向けて、日本眼科学会、日本角膜学会、日本角膜移植学会の3学会で検討した結果、羊膜移植の術者は、羊膜移植講習会（日本角膜学会開催、日本眼科学会認定）を受講し、羊膜移植術者の認定を日本眼科学会から受けた上で羊膜移植を実施していただくことになりました。羊膜移植講習会は2014年にはフォーサム（7月4 - 6日、東京）、日本臨床眼科学会（11月13 - 16日、神戸）、2015年の角膜カンファランス（2月11-13日、高知）のそれぞれの期間中に行うことが予定されています。2015年以降も年2回の羊膜移植講習会が行われる予定です。羊膜移植の保険収載が急であったため、羊膜移植講習会が行われるまでの間は講習会受講による術者認定を行うことができません。そこで、第3回の羊膜移植講習会までの間に羊膜移植の術者としての認定を希望する先生は別紙1の申請用紙により日本眼科学会に申請を行っていただく事になりました。ただし、まず日本角膜学会に申請用紙を送って下さい。日本角膜学会から日本眼科学会にまとめてお送りいたします。

術者として必要な要件は、①眼科の経験を5年以上有する、②羊膜移植の術者または助手の経験を6例以上有する、③羊膜取扱いガイドライン*および羊膜移植ガイドライン*の内容を遵守して羊膜移植を行う、です。

なお、今回の認定は羊膜移植講習会が実施されるまでの暫定的なものです。2014年のフォーサム、日本臨床眼科学会、および2015年の角膜カンファランスで行われる羊膜移植講習会のいずれかを受講いただき、認定を受けるようにしてください。受講いただけない場合、今回の認定は無効となります。

* 羊膜取扱いガイドラインおよび羊膜移植ガイドラインは日本角膜学会のウェブサイト (<http://www.cornea.gr.jp/>) から閲覧ください。

別紙 1 羊膜移植術者認定申請用紙

公益財団法人日本眼科学会
石橋達朗 理事長 殿

私は、以下の要件を満たしており、羊膜移植の術者としての認定を希望します。

1. 私は眼科の経験が5年以上あります。
2. 私は羊膜移植の術者または助手の経験が6例以上あります。
3. 私は羊膜取扱いガイドラインおよび羊膜移植ガイドラインを遵守して羊膜移植を行います。

所属施設名

申請者氏名

印

E-メールアドレス：